

新 F A I ルール (2008 年 10 月改正)

F A I クラブは低位株で利殖を図ることを目的とする

月足グラフを描きデータスリップで業績を調査し、場帳をつけ変動感覚を養い、売買技法の上達に努力する。また毎月の例会に出席し、推奨する銘柄の提出や研究発表を積極的に行う

- 1) 4~5 年下げ、3 段下げ完了の銘柄を買う
- 2) 底練りの中の 2 番底形成を待つ
- 3) 下に來ての 6 連続陰線に注意。W型の底、または小さくとも毛抜きの出るのを待つ
- 4) 三角形に注意。切り上がり、二等辺、切り下がり、各三角形のうち切り上がり三角形が最も強いとくに 2~3 年あるいはそれ以上かかって形成された三角形は大きく上伸する
- 5) 三角形の先端陰線下部の十字は直ちに買い
- 6) 2 番底の陰線下部の十字は直ちに買い
- 7) 安値にきての 5 連続陽線は買いの準備。次の 2 連続陰線をみてから買い
- 8) 底練りの中で小動きになったあとの兆し陽線に注意。そのあとの陰線 2 本をみて買い
- 9) 底練りの中で過去 4~5 本を一気に上抜く陽線は上げの兆し
- 10) 保合、または安値からの長大陽線は、そのあとの 2/3 押しで買い
- 11) W型、M型後の切り返し（両抜きも）は上げのはじめ
- 12) 6~12 ヶ月（またはそれ以上でも）の上げ下げが 90° 前後のとき、その下げトレンドを上抜く陽線は上げの第一歩
- 13) ボーダーライン（切り上がり三角形の上辺）を超えたら 5 円上抜きをみて買い
- 14) 上げ途上のプラットフォーム（ボックスの上辺）を抜いたら 5 円上抜きで買い。
陽線 3 本をみて売り手仕舞い。再び下げてきたときにプラットフォームの 20 円上で買い
- 15) 上放れ 3 陽線のあと 3 本目の陽線の半分以下に陰線が食い込んだら上げ幅の半分下がる
- 16) 買うときは 2 分割またはそれ以上の分割で、細かく分けるときは下値ほど厚く買う
- 17) 経常利益予想が 30%以上増加だったら注意
- 18) 1 株あたり純資産の増加は買い。3 期連続増加は絶好。
ただし、3 連続陽線などで上げていれば売り
- 19) 人員整理および資産売却は買い
- 20) 1 株あたり純資産に食い込んだら注意
- 21) 前期が赤字で、今期が経常または税引きトントンの銘柄に注意
- 22) 5 期連続無配および債務超過はチャートが良くても避ける。
また、その他の財務指標（有利子負債比率、株主資本比率）を見て判断する。
- 23) 1 段上げでも、2 段上げでも、陰線の両抜きが出たら（出そうでも）いったん利食い
- 24) 10 年またはそれ以前の高値でも、それを抜いて新高値をつけたときはいったん売り
- 25) 発行株数の 5%以上の出来高をみせたら、4 日目に利食い
- 26) 1 段上げは約 100 円。しかし、70~80 円で利食いする
- 27) いったん利食いしたあと買い直す時、または買い増しするときには出来高が細ったときにする
- 28) 同業種の先導銘柄が上伸に転じたら買い選定銘柄に注意、買いの準備
- 29) 3 段上げは天井。3 段上げで売り。3 段目の 5 連続陽線は売り

- ◆ 信用取引売りは、この方式 3 年またはそれ以上の経験後、
資本金 300 億円以上の銘柄のうねりを見て行う
- ◆ 資金の 2 割以上は常に余裕を持つ
- ◆ 信用取引買いは絶対禁止
- ◆ 同時に保有する銘柄数は 24 以下とする
- ◆ 手持ち銘柄の株数は均一にして分散する
- ◆ 買ってから 24 ヶ月以上経過したものはいったん手仕舞いし、再検討する